

岡谷市社会福祉協議会設立 60周年記念 平成27年度 岡谷市社会福祉大会 開催

本年の岡谷市社会福祉大会は、岡谷市社会福祉協議会が設立60年を迎えたことを記念して、8月1日(土)カノラホールに於いて開催されました。

「みんなで築く、みんなの福祉、みんなの未来(あした)」を主テーマに、約600人のみなさんに参加していただきました。

式典では、長年にわたり社会福祉事業に貢献された方々に表彰状が、多額の寄付金・物品寄付をいただいた方々には感謝状が贈呈されました。



講演会では、タレントのダニエル・カールさんをお招きし、「～がんばっぺ! オラの大好きな日本～今、できること」と題し、ご講演いただきました。

東日本大震災の支援を通して、今、何ができるか、又、日本人の「謙遜」という行為や「察する文化」等への驚きや戸惑いを外国人の観点で、山形弁を交えて楽しくお話をしていただきました。



リフレッシュタイム(幕間)では、「おかやボランティアアンサンブル」のみなさんが演奏を披露してくださいました。

また、ホワイエでは、「希望の里つばさ」「エコファおかや」「ひだまりの家」のみなさんに、日頃製作している作品等の販売を行っていただきました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



市民憲章唱和

岡谷北部中学校の今井美里さんの前文朗読に続き、参加者全員で市民憲章唱和を行いました。



岡谷市共同募金委員会会長表彰

共同募金に多額のご寄付をいただいた方々を代表して、岡谷市仏教婦人連合会様に、東日本大震災等への義援金、ボランティア活動への支援金として、多額なご寄付いただいた方々を代表して、小口区様に壇上でお受けいただきました。



主な内容 CONTENTS

平成27年度岡谷市社会福祉大会開催	18
社会参加等公募提案型事業	20
市民活動団体へ助成	21
福祉バザーにご協力をお願いします	21

スローガン
みんなで築く
みんなの福祉
みんなの未来(あした)

●発行・編集●

岡谷市社会福祉協議会

〒394-0081

岡谷市長地権現町4-11-50

☎ 24-2121

☎ 24-3555

*

ホームページアドレス

www.okaya-shakyo.or.jp

*

メールアドレス

info@okaya-shakyo.or.jp



👑 リフレッシュタイム

市内外の福祉施設や地区の昼食会などで演奏活動をされている「おかやボランティアアンサンブル」の皆さんに、オリジナルの「ボランティア讃歌」や「花は咲く」「ふるさと」「琵琶湖周航の歌」を演奏していただき、会場のみなさんも一緒に歌っていただきました。

福祉事業に貢献された個人・団体に表彰状・感謝状 (敬称略)

- | | |
|--|--|
| 社会福祉事業特別功労者
小澤 繁弘 横内 文雄
褒章(個人) | 阿部 米勝 上條 國男 八幡 重則
小坂 利道 小林 和男 春日 孝一
鮎澤 勉 山田 恵一 堀川 敏子
山崎 壽美子 宮澤 竹子 宮澤 なか子
宮澤 久子 宮澤 久美 宮澤 睦子 |
| 福祉基金感謝状(遺志金)
山崎 正弘 下平 郁夫
福祉基金感謝状(寄付金)
財団法人岡谷市ダンス協会 株式会社笠原書店
東堀星桜会 宮坂平之助
岡谷市ボランティアセンター感謝状(物品)
京セラ労働組合 村上 良市
長野県共同募金会
岡谷市共同募金委員会会長感謝状(団体)
岡谷市仏教婦人連合会
税理士法人三澤会計・みさわ財産コンサルティング(株)
宮坂ひろ子社会保険労務士事務所社員一同
宗教法人真如苑岡谷支部
(株)ダイヤ精機製作所労働組合
TPR労働組合・TPRトータルサービス労働組合・TPR帝友会
京セラ(株)長野岡谷工場従業員一同
京セラコネクタプロダクツ(株)岡谷事業所従業員一同
京セラクリスタルデバイス(株)岡谷事業所従業員一同
(株)日本ビスコ従業員一同
東日本大震災等義援金・ボランティア活動支援金
長野県共同募金会岡谷市共同募金委員会会長感謝状
(有)美よう室湖畔 岡谷せせらぎ会 小口区
退職職員感謝状
加藤めぐみ | 社会福祉事業特別功労受賞の横内文雄様に受賞者を代表して、お礼のことばをいただきました。 |



👑 実践申し合わせ事項確認

「岡谷市朗読の会まどか」依田節子さんに朗読をしていただきました。生活の中で実践していくことを会場のみなさんの拍手により、確認されました。

平成27年度 岡谷市社会福祉大会 実践申し合わせ事項

- 一、今、何ができるか、お互いに考え合い、みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりのために主体性をもって参加しましょう。
- 一、誰もが、いきがいをもって、気軽に参加できるボランティア活動の輪を上げましょう。
- 一、健康で明るく、地域でいきいきと過ごしましょう。
- 一、地域の防災・災害時救援組織づくりを進め、普段から支え合い、助け合いの地域づくりを推進しましょう。
- 一、学校、地域等が協働して社会全体で子育て支援を推進しましょう。
- 一、思いやりの心を育てる福祉教育を推進しましょう。
- 一、共同募金運動に協力し、助け合いの輪を上げましょう。

講演内容要約

『いがんばっぺ！オラの大好きな日本』
今、できること

講師 タレント ダニエル・カール氏

米国カリフォルニア州出身のダニエル・カール氏は、現在、東京で翻訳・通訳サービス会社を経営。英語、ドイツ語、山形弁を操り、豊富な知識とサービス精神で、レポーターやコメンテーターなどとしてもご活躍をされています。

講演内容の要約です。

・こんにちは。カリフォルニア生まれ、山形育ちのダニエル・カールです。

あの震災から四年半が経過した。私も三十回以上ボランティアに行つて、声をかけ、元気づけ、物資を運んでいるが、岡谷市からも山田町に支援に入られたとお聞きした。日本人つてすごい。みんながすぐ動いてくれる。長野県をはじめ全国各地から支援物資が届き、復興が進んでいる。未曾有の被害だったが、皆さんのおかげ。東北人の一人としてお礼を言いたい。(言葉が詰まり涙) ありがとうございます。久し振りに泣いちゃった。復興はこれからも続く。今までは基盤づくり。土木関係の人もたくさん来ている。これからは急ピッチで進んで行くと思う。「今、何ができるか」とよく聞かれる。簡単な事。東北の物を買ってほしい。風評被害で売れなくなっている。今行ったら迷惑だと考えず、どんどん東北に観光に来てお土産を買ってほし

い。これが一番シンプルな復興支援になる。ちょっと意識して東北産の物をお願い。

・もう一つは、ボランティア活動に参加してほしい。自分の意思で、人のため、町のために何かをしたいという気持ちを持つ。私の初めてのボランティア体験は六歳の時だった。老人ホームに行つてみんなで歌を歌った。下手だったが、大喜びでアンコールが出た。中には泣いている人がいて、歌がひどかったんだと思つて理由を聞いたら、孫を思い出して感動したとうれし涙だった。それで、またやりたい気持ちになった。年々、活動がハードになっていったが、やり終えると達成感を味わい、大人になった気がした。ボランティアは楽しい。若い頃から始めると一生やりたくなる。ぜひ、ボランティア活動をしてほしい。

・外国人が日本に多く住むようになった。岡谷市にも住んでいる。長野県は外国人に人気がある。でも、皆さんの頭に、古い先入観がある。外国人IIチンペンカンペン。でも時代は変わった。在日外国人の八割は、日常生活の日本語がある程度できる。(山形弁はオラだけだけど。) だからコミュニケーションは心配しなくて大丈夫。だけど日本語には外国人には理解できない落とし穴があるので、外国人の私が、日本人に日本語を教える。(笑)

・日本語の曖昧さ

その一 「主語」がない。

日本に来て三ヶ月目。ホームステイ先の家族が、

親も子も「行ってきます」と言つて一言で出ていく。「えっ？だれが、どこへ。」と外国人は驚く。英訳すれば「go」の一文。日本人には当たり前でも情報が少なすぎて理解できない。主語を入れれば通じる。

その二 役に立つ便利な単語「あれ」

何でも代名詞になる。「あれ」では何を指しているのかわからない。外国人には「禁句」にしてほしい。ところが、私も五十代になり、使つてしまふ。先日、妻に「あれ」持つてきてと言つたら、ちゃんと「あれ」を持つてきてびっくりした。「以心伝心」。英訳しにくい、しいて言えば「テレパシー」。他の国の人にとっては「超能力」。普通の人間はできないが、日本人にはできる。日本人は出来が違う。

その三 「謙遜」日本の美德の一つ。

自分、家族、物をけなして言う。

「家の愚妻が」と紹介され、意味がわからず、名前だと思つて、「グサイさん初めまして」と言つて大恥をかいたり、お土産を渡される時、「つまらないのですが」と言われ、何でそんな物をもつたり。でも、お土産は大好き。

「口でけなして心で愛する」。言いたいこと、口にしては正反対。日本のディープな文化だが、外国人には誤解される可能性が高い。国によって習慣が違うのは当たり前だが、この違いを意識してほしい。

今日は三つのポイントしか言えなかったが、勉強になったかな。まだ、話したい時間がなくて残念。お開きにします。ありがとうございます。

二次募集

社会参加等公募提案型事業 市民活動団体への助成

広報おかや5月号にて募集をしましたが、申請期間中に申請がありませんでしたので、二次募集を行います。

目的	障がいのある方の社会参加と生活訓練等の事業等を市民団体等が計画・実施するものについて、事前に提案を受け付け、その事業に対して、予算の範囲内で必要な経費を助成します。 なお、助成を受けた団体等・事業については、今後、「岡谷市障害者福祉推進実行委員会」との協働を検討いただき、市民総参加の福祉のまちづくりの推進を図ります。
対象団体グループ	●平成26年度までに「岡谷市障害者福祉推進実行委員会」に加入していない、市民団体、NPOなどで、市の障がい福祉に貢献している（する意向の）団体等であること。 ●今後、「岡谷市障害者福祉推進実行委員会」等との連携が期待できる団体。
市民団体等の条件	●団体等の構成員の半数程度以上が岡谷市民であること。 ●事業内容を適正に実施できること。
対象事業	●岡谷市の障がいのある方の社会参加や生活訓練を促進する講習会・体験会・イベント等（調理教室、栄養教室、太鼓教室、キャンプ体験会、農作業体験会、障がい者ゲートボール教室 等） ●障がい福祉サービス事業所等との連携（市内の事業所巡り、職業体験による交流 等） ●障がいの理解啓発の活動 等（リーフレットの発行、街頭啓発活動、統計調査 等）
申請方法	申請書に必要事項を記入の上、「岡谷市障害者福祉推進実行委員会（事務局：岡谷市社会福祉協議会）」にご提出ください。
選考方法	●「市」「社協」「岡谷市障害者福祉推進実行委員会」の代表からなる「助成事業選定委員会」で審査、決定します。
申請期間	平成27年9月1日（火）から 10月16日（金）まで



福祉バザーにご協力をお願いします!!

- ★日時 10月24日（土）午後1時～3時頃
- ★場所 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）大会議室・コンベンションホール
- ★主催 岡谷市障害者福祉推進実行委員会（市社会福祉協議会内）



募集中

寄付品の募集をしています。ご協力をよろしく申し上げます!

☆募 集 品：日常生活用品で衣食住に関係あるもの（衣料品・台所用品・電気製品・子ども用品等）
中古品・名入り品はご遠慮ください。

☆ 募集期間：10月23日（金）の午前中までに、おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）へお持ちください。事業所からの寄付もお待ちしております。



売上金は、障がい者団体への助成や岡谷市障害者福祉推進実行委員会事業、基金への積立等、障がい者福祉のために活用させていただきます。

▶ 上記に関する申込み・問合せ ◀

岡谷市障害者福祉推進実行委員会（事務局：岡谷市社会福祉協議会）

〒394-0081 岡谷市長地権現町4-11-50 TEL 24-2121